募集要項

2027年度大分県厚生連鶴見病院医師臨床研修プログラム 二次募集

プログラム名　　大分県厚生連鶴見病院医師臨床研修プログラム

応募書類提出締切　2026年11月13日（金）
選考試験日　　双方のご都合のつく日で調整します

応募書類　　下記1～6の所定の応募書類

1. 研修医採用願書（Word）
2. 成績証明書
3. 卒業（見込）証明書
4. 履歴書
5. 小論文
6. 確認票

※以上の書類を取りまとめて、応募受付期日までに大分県厚生連鶴見病院臨床研修センターに持参又は、下記宛先に書留郵便にて郵送して下さい。

※応募者には、後日メールにてご連絡いたします。

応募資格　　・第121回医師国家試験受験予定の者
・令和８年度に実施された医師臨床研修マッチングでアンマッチとなった者、またはマッチングに参加しなかった者。

選考方法　　面接試験，小論文（応募書類に同封して事前提出）

小論文　　小論文のテーマ「初期臨床研修に向けての抱負」

作成要領

1. 市販のA4サイズ400字づめ原稿用紙に横書き
2. 2枚以内で作成
3. Word等で作成の場合は、A4サイズの白紙を縦に使用し横書きする事とし、1行の文字数は20文、1頁の行数は20行、フォントはゴシック体とする。

お問い合わせ・書類提出先　　大分県厚生連鶴見病院　臨床研修センター
〒874-8585　大分県別府市緑丘町12番1号
TEL　0570-06-7111（Ext.:4945）
FAX　0977-23-7039
E-mail　tt-center@ok-tsurumi.com

処遇・待遇

1. 身分　…　正職員
2. 研修手当
   《基幹型》…　基本手当（1年次）450,000円（税込み）
   （2年次）480,000円（税込み）
   《協力型》…　基本手当（1年次）450,000円（税込み）
   （2年次）480,000円（税込み）
   ※当直手当あり
3. 勤務時間　…　8：30～17：00
4. 時間外・休日労働の想定最大時間数（年単位換算）　…　300時間
   （昨年度実績：約68時間）
5. 休暇　…　有給休暇（1年次）10日　（2年次）20日
   夏期休暇・盆休暇・年末休暇
   その他（慶弔休暇）
6. 日当直　…　月に約3回（当直明けの日の午後は業務免除）
7. 研修医の宿舎　…　なし（住宅手当あり　上限56,000円）
8. 病院内の個室　…　あり
9. 社会保険等　…　健康保険、厚生年金保険
   雇用保険、労災保険
10. 健康管理　…　健康診断（年2回）
11. 医師賠償責任保険の扱い　…　病院にて加入
    個人加入は任意
12. 外部の研修活動　…　学会、研究会への参加可

大分県厚生連鶴見病院医師臨床研修プログラム

研修の理念

医師への道は、長く厳しいものです。鶴見病院は患者さんの悩み、苦しみ、きつい思いを感じることのできる医師を育てています。平成25年度から基幹型病院として初期研修医を受け入れるとともに、大分大学医学部附属病院の協力型研修病院でもあります。

全国で地域医療は危機的です。当院は最先端医療と救急医療を提供しており、専門医を育成する教育を行っていますが、何より、患者さんが医師を育ててくれます。2年修了した時に得た淡い自信を、5年修了時に確かな自信と感じられる医師教育を行います。

私どもと一緒に、自分が目指す医師の道を歩みましょう。

☆鶴見病院のビジョン

1 大分県がん診療連携協力病院

がん患者さんは高齢化し、多くの合併症を持っています。当院は、リスクの高いがん患者さんに低侵襲で、安全な治療を実践しています。

(1) 健診センター・内視鏡センター、放射線治療の充実
健診から、確実で速やかな診断、内視鏡治療や放射線治療、内視鏡外科手術、外来化学療法など低侵襲かつ複合的な治療

(2) 常勤臨床心理士や緩和ケアナースの緩和ケアチーム
がん治療早期より介入し、併設の緩和ケア病棟や在宅医療で終末期ケアを行います。
がん治療には生活習慣病や多くの科の知識や技術が必要です。当院では、研修医諸君を知識、技術、忍耐力、コミュニケーション能力をもった臨床医に育てます。

2 地域の基幹救急病院

救急医療は医療の原点です。すべての医師がまずプライマリーの知識と技術を持つことです。当院は地域の基幹救急病院として多くの患者さんを受け入れながら、全ての診療科が常にバックアップする体制を整えて、当直医の負担軽減に努めています。

救急体制の特徴

(1) 放射線科医の24時間オンコール読影体制

(2) 診療科間の緊密な連携で、相互の時間外診療サポート

(3) 様子観察のための1泊入院制度

(4) 救急車　2100例/年
研修医当直時は上級医師が必ず当直をし、研修医の負担が少ないようにしていますが、当直ほど勉強になる機会はありません。情熱のある研修医が満足できる臨床研修病院を目指します。

研　修　計　画

【臨床研修の目標】

医師としての広い人間愛を涵養し、プライマリケアの理解を深め、患者の権利を尊重し、全人格的に診療できる基本的な診療能力を修得する

Ⅰ．プログラムの原則

1. 研修期間は2年間とし、研修は、当院、臨床研修協力施設において実施する。
2. 初期臨床研修期間中のアルバイトはすべて禁止する。

Ⅱ．プログラムの参加施設

1. 本院を基幹型臨床研修病院とし、臨床研修協力病院や施設と共同して、臨床研修を行うものとする。
2. 臨床研修協力施設は、本院と密接な関係を保ち、適切な指導力を有するものが配置さているものとする。

【臨床研修協力病院】

・大分大学医学部附属病院（産婦人科、精神科、及び当院にない選択科）
・独立行政法人国立病院機構別府医療センター（産婦人科）
・宇佐高田医師会病院（地域医療）
・杵築市立山香病院（地域医療・在宅医療）
・国東市民病院（地域医療・在宅医療）

【臨床研修協力施設】

・医療法人新生会宇佐胃腸内科医院（地域医療）
・大分県厚生連健康管理センター（選択科）
・老人保健施設シェモア鶴見（選択科）
・医療法人恵友会杵築中央病院（地域医療・在宅医療）
・しおはま診療所（地域医療・在宅医療）
・大分県東部保健所（保健・医療行政）
・大分県西部保健所（保健・医療行政）

Ⅲ．定員

研修医の募集定員は5名とする。

※協力研修病院として別に受け入れ予定あり

Ⅳ. 研修スケジュール

<table>
<tr><th></th><th>1年次</th><th>2年次</th></tr>
<tr><td>1～4週</td><td>オリエンテーション
（点滴･採血） 4週</td><td>地域医療　4週</td></tr>
<tr><td>5～8週</td><td rowspan="8">内科　30週</td><td>産婦人科　4週</td></tr>
<tr><td>9～12週</td><td>精神科　4週</td></tr>
<tr><td>13～16週</td><td>小児科　4週</td></tr>
<tr><td>17～20週</td><td rowspan="10">選択科　36週
（一般外来を並行研修）</td></tr>
<tr><td>21～24週</td></tr>
<tr><td>25～28週</td></tr>
<tr><td>29～32週</td></tr>
<tr><td>33～36週</td><td rowspan="2">外科　5週</td></tr>
<tr><td>37～40週</td></tr>
<tr><td>41～44週</td><td>救急（麻酔科） 4週</td></tr>
<tr><td>45～48週</td><td rowspan="2">選択科　9週</td></tr>
<tr><td>49～52週</td></tr>
</table>

※内科研修では、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、神経内科から3診療科を選択し、それぞれ10週ずつ研修する。

※外科研修では、消化器外科、呼吸器外科を併せて5週間研修する。

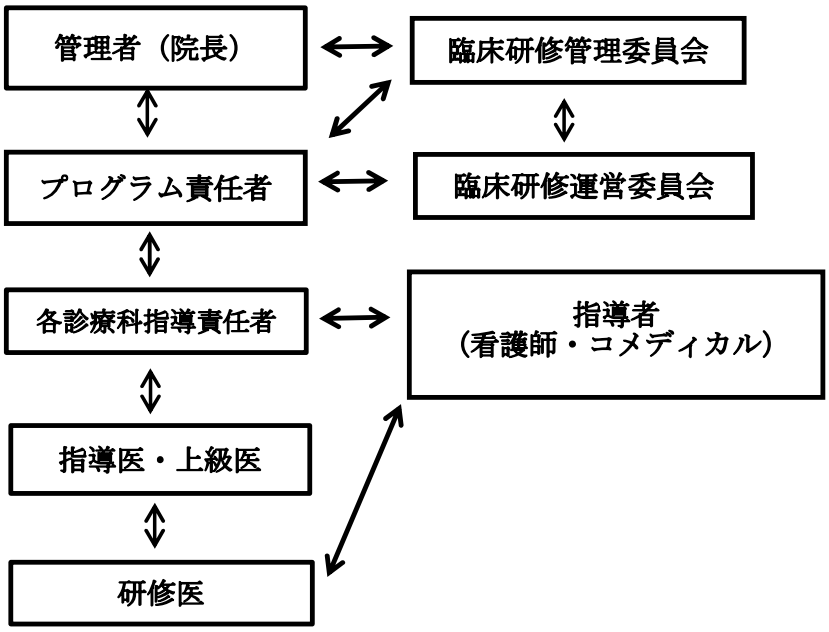
※救急科研修については麻酔科もしくは救急科4週間のブロック研修を行う。また、通年で週1回の救急科研修を行い（並行研修）、残りの8週分とする。不足する場合は夜間当直の一部を救急科としてカウントする。
（麻酔科指導医不在の状況で麻酔科を希望する場合は、選択科目として大分大学にて選択可能）

※一般外来研修は小児科研修中に2週分、及び2年次の選択科研修中に総合内科外来にて週1日一般外来の並行研修を行い、併せて4週分とする。

※地域医療研修中に在宅医療研修を行えなかった場合は、他の在宅医療研修が可能な研修先にて1～数日研修を行うこととする。

※選択科は本人の希望に沿い選択可能だが、到達目標である症例経験が達成できるように配慮する。

研修システム概要



管理体制の重要な役割は以下の3点である。
①医師法に基づいた2年間の研修プログラムが実施されるよう管理すること。
②研修プログラム、 実際の研修内容の質を担保し、質の高い研修医を育成すること。
③研修が効果的に行われるよう指導体制をサポートすること。

管理体制
１）臨床研修管理委員会
協力施設の指導医や外部委員を含め、研修プログラムの全体的な評価・管理を行う。

２）臨床研修運営委員会
適正かつ円滑で質の高い研修運営についての実務的な協議を行う

指導体制
１）各診療科指導責任者
各科における研修指導の要であり責任者。 必ずしも各科の診療責任者と同一者ではない。
２）指導医、上級医
実際の指導を行う医師
３）指導者（看護師、コメディカルスタッフ）
医療従事者の先輩として研修医に助言、 指導を行う。 コメディカルスタッフの立場から、
研修医、指導医の評価を行う。

臨床研修病院としての施設・設備

１．部門別研修
１）外来研修
各診療科の初診、再診患者の診察を研修する。
診察症例について外来担当医師とディスカッションを行う。

２）救急医療
研修医は、一般的な疾患を中心に一次から二次までの救急を研修する。
平日の日勤帯は、①救急担当医が担当し、各診療科がオンコールでバックアップしている。
夜間・土日祝日は、一般当直医1名、ICU当直医1名の体制となり、各診療科がオンコールでバックアップしている。

３）各診療科病棟研修
経験目標（手技、症状、疾患など）は、漏れがないよう各研修科で分担を決めている。

４） 臨床病理検討会 (CPC)
病理解剖が行われるときは、可能な限り研修医も参加する。
CPCは担当研修医を中心に、担当病理医、主治医、研修医、指導医などが参加し、随時開催されている。
研修医のCPC出席は、必須である。

２．研修をサポートする設備
１）臨床研修センター
本館4階に研修医が休憩できる部屋を用意している。

２）仮眠室、当直室
医局内に3部屋、新館1階に1部屋、本館3階に１部屋用意している。

３）図書室
本館5階にある。24時間利用可能である。文献検索は、医局コンピュータ室の端末から可能である。
PubMed、医学中央雑誌電子版が利用可能である。

４）シミュレーター
心肺蘇生訓練用のASLシミュレーター、レサシアンシュミレーター、気道管理トレーナー、
採血訓練トレーナーなどを用意している。

５）宿舎
住宅手当あり（上限：56,000円）

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

確　認　表

（採用願書在中の封筒に同封するもの一覧）

☆書類は持参もしくは書留で郵送のこと

☑印を付けること

提出するもの一覧	受験者	大分県厚生連鶴見病院
1．研修医採用願書	□	
2．成績証明書	□	
3．卒業（見込）証明書	□	
4．履歴書	□	
5．小論文	□	
6．確認票	□	